

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性
	(KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 外国人教員（ALEを含む）の比率（現在約30%）を維持する	→外国人教員比率		A			
2. 外国人留学生を積極的に受け入れる	→外国人留学生数		A			
3. ミレニアム開発研究センターを活用した教育研究、社会貢献活動を積極的に推進する	→ホームページを利用した各種関連する情報の発信の有無		D			
4. 国際的な学生ボランティア活動、インターンシップ活動への学生参加を積極的に支援する	→海外への学生の派遣人数、ボランティア団体のホームページによる活動の情報発信の有無		B			
5. 国連ボランティア計画による国連ボランティア学生の育成と参加を促進する	→国連ボランティア参加者数、国連セミナー参加者数、ボランティア活動、その育成のための教育プログラムのホームページによる情報発信の有無		B			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目 7.0.1	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ → ● 明示している ○ 明示していない (方針) 身近な問題の多くが地球規模の問題と密接につながっており、それらの解決策を探っていくことがより良い地球社会を築くことを可能にすると考え、「関学総政宣言」として「Think Globally. Act Locally. -今、身近な問題から世界の扉を開く-」を表明している。 (説明) 2010年度から本格運用を開始した学部独自ホームページや学部パンフレットに上記の宣言を明示している。
★ 小項目 7.0.2	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。 (説明) 特別客員教員や客員教員を招聘し、これらの教員が担当する授業科目を開講するなど、適切に実行している。また、国連ボランティアや国際公務員育成を目的とする教育プログラムについて、2013年度の実施に向けて検討している。
★ その他	

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【総合政策学部】			単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	2	3	3	3	3	3	・5/1現在	
指標2	国際交流協定締結国数		国	2	3	2	2	2	2	・5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—		
		外国人留学生	正規	人	145	139	120	123	130	123	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	0	0	0	0	0	0	・累計数 ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	6.9	6.5	5.6	5.4	5.6	5.1	・外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—	—			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	・累計数	
		人数	長期	人	37	49	38	43	37	37	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	26	49	50	46	33	33	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	1.8	2.3	1.8	1.9	1.6	1.6	・海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	1.2	2.3	2.3	2.0	1.4	1.4	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	0	0	0	1	1	1	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	4	3	3	2	1	1	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	1	1	0	1	1	1	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	101	74	122	85	118	118	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	3	4	3	3	・累計数 ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%	—	—	—	34.8	31.8	—		

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)

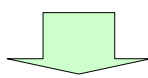
(その他の指標)
 協定校と相互交流数(学生・教員)
 国別国際交流協定締結先機関数
 国別留学生数(学部別)の経年変化

☆追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
☆小項目 7.0.2	外国人教員は全体の31.8%を占め、130名(2010年5月1日時点)の外国人留学生を受け入れている。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
☆小項目 7.0.2	ホームページを中心とした国際交流関連の情報発信に努める。
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目 7.0.1		
★小項目 7.0.2	ミレニアム開発研究センターを活用したホームページ上での関連情報の発信はほとんど行っていない。	
その他		

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目 7.0.1		
★小項目 7.0.2	ミレニアム開発研究センターは一時中断することになったため、センターを活用した情報発信は困難となった。	
その他		

◎自由記述

【点検・評価】《次年度に向けた方策》	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】
 ○外国人教員の比率が31・8%もあり留学生も130名という点は大変評価できます。関係の情報発信の遅れについてはさらなる努力が望まれます。国際公務員育成のプログラムなどユニークな計画については順調な進展が期待されます。

【学内委員】
 ○正規学生としての外国人留学生の受け入れについてはほぼ目標が達成されておりますが、交換による外国人学生の受け入れも重要ではないですか。
 ○外国人教員、留学生を数多く受け入れていることは非常に評価できます。
 ○7.0.2の説明は総合政策学部の国際交流を説明するには十分とは言えない印象です。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★なし	
-----	--